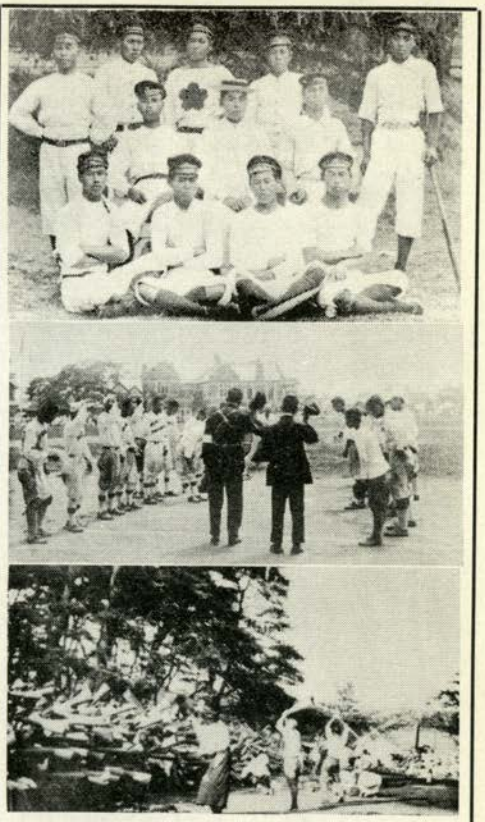
神戸遊戯誌 73



上　明治34年初めて外人と試合した神戸一中チーム
中　大正8年 第5回大会兵庫県予選準優勝戦
　　神戸一中（左）対神戸二中
下　大正8年 当時の応援団（神戸一中）
　　―神戸高校及び来田氏アルバムより―

野球① 高校野球を中心に

青木重雄

★強剛ぞろいの兵庫勢

今夏の全国高校野球選手権大会は、例年以上に話題が多く、しかも内容的にも充実した好試合の多い、みのり豊かな大会だった。それだけに全国的な反響も大きく、ともすればこのところサッカーの人気に押されて〝斜陽スポーツ〟の声も出ていた野球の人気をがぜん取り戻した感じで、野球界のためにははなはだ喜ばしい行事だったといえる。なかでも三沢高校のピカ一投手太田幸司選手の活躍と同校と松山高校との優勝戦における延長18回戦は、かっての第19回大会における明石中と中京商との球史に輝く「延長25回の死闘」（結果は2―1で明中惜敗）をほうふつさせる大試合だっただけに、一段と全国野球ファンの人気をさらった感じである。太田投手が第二のスタルヒンとうわさされるハーフだったことも人気を倍加したが、他方、大会各試合が日を追って白熱化し真剣でまじめな高校生らしい好プレイが続出したこともファンに感動と好印象を与えた。朝日新聞のいつかの投書欄に「同じ勝つことが目的でも、手段を選ばぬゲバ棒の大学生と秩序とルールを守って正々堂々と戦う高校野球選手の態度の間には月とスッポンの相違がある」と書かれていたが、これを読んでそのとおりと、思わずヒザをたたいた人々もかなり多かったに違いない。いずれにしても高校野球々史上にさらに新しい黄金の一ページを書き加えた栄光ある大会だったといえよう。

ただ寂しい感じが残るのは、郷土の兵庫県代表校のいま一つの活躍振りである。一回戦で敗れたからいうわけではないが、本大会における東洋大姫路高校の印象はまことに影の薄いものだった。選手がベストをつくさなかったというのではないが、他校選手に比べると、いろいろな点でパッとしない存在に終わったことは否めないのではないか。最終回にやっとチャンスをつかみ一点を入れて辛うじて面目を保ったものの、あれでもなければ正直にいって郷土ファンとしては全く目をおおいたくなるような負け振りだった。一回勝負だけに不運だったのだといえばそれまでだが、〝あんなに弱いチーム〟（こんなことをいって同校選手に申しわけないとは思うが）がよくも予選で報徳や滝川高校に勝てたものだとふしぎな

気さえする。同時に県下チームの全国的レベルの低さを如実に教えられたような気がして全く情ない気がした。同じ負けるにしてももっと感銘に残る負け方をして欲しかった——といわずにおれないのだ。他チームに注目される試合が多かったので、よけいにそんなことを思うのかもしれないが、あの試合を見ていて全くやりきれない気持ちになったことは事実である。

そういえば、夏と春の全国高校野球史を振り返ってみるとき、県下出場チームの戦前のあの花々しい大活躍に比べて、戦後の県下勢の活躍がなんと見劣りするものかということが思い合わされるのである。むろん、戦後も芦屋高の昭和27年度夏の大会全国優勝（大正12年の甲陽中の全国制覇以来じつに三十年ぶり）はじめ、36年大会における報徳高の連続〝逆転勝ち〟の偉業、洲本高、昭和28年の春の選抜大会での全国優勝などの偉業はあったが、大体において一、二回戦で負けてしまうケースが非常に多い。このことは県下勢だけの責任というよりも、戦前と違い戦後は全国高校野球チームの実力に地方差がなくなったことや進学主義のマイナス的要素や体力のない都会チームの弱味などのいろいろな事情があげられるわけだが、それらの諸理由を是認するとしても、それ以上に県下の高校チームの実力はレベル以下のところに低迷しているように思われる。では、この弱さの最大の原因は何か？また、県下勢をもっと強くする可能性はどこに求められればよいのか？そんなことを頭において、以下高校野球を中心に、県下野球界の長い歩みの跡と現状に目をやりながら、同時に今後の活躍ぶりを探ってみたい——

夏の大会が発足した大正四年前後は、ようやく野球が一般に浸透し始めた頃で、中学野球は六大都市を中心に野球部の誕生が目につく程度だったから、野球伝来の地といわれる兵庫県下チームの存在がめだっていたのは当然で、なかでも明治29年創設の神戸一中（現神戸高）をはじめ同二中（現兵庫高）、関学中などの強剛が顔をそろえていた。第一回から第十二回までの大正時代は、優勝三回と準優勝二回の記録が示すように、県代表は毎年優勝候補の筆頭だった。第一回県大会は大正四年八月三日から三日間、関学中校庭（現在の王子動物園附近）で七校が参加して開かれたが、関学が優勝候補の随一に挙げられていたのに、二中のため3—2で逆転負けした。当時、二中の二塁手だった岸本胤夫さん（現藤勇海運）が語るように、「勝った二中も負けた関学も、キツネにつままれたように長い間ぼう然と立ちつくしていた」というから、関学にとってはよほどのショックだったに相違ない。これで立ち直った関学は第二、三、四回と県代表となり、全国大会では第三回に決勝戦で剛速球の内海寛投手を立てて愛知一中と渡り合い、雨のため翌日再試合、それも延長十四回のうえ1—0で惜敗した。第四回こそ全国優勝確実（県代表に決定していた）と自他共に許していたのに八月三日に米騒動が起きて中止となり、悲運の涙をのんだ。関学中に代わって、地元にはじめて優勝旗をもたらしたのは第五回（大正8年）優勝の神戸一中である。当時のキャプテンで四番打者だった来田健朗さん（神戸高同窓会館勤務）は「県大会のはじまる十日ほど前、突然校長から〝ことしはぜひとも勝て。石にかじりついても勝て〟と激励されて、その翌日から大会まで毎日足腰が立たなくなるまできたえられた」と語っている。その一中が一般の予想を裏切って当時名投手といわれた神戸商の浜崎真二投手（現野球評論家）を打ち込んで県代表となり、つづいて全国大会（鳴尾球場）でも堂々と勝ち進んで優勝した。なお、この時の選手の一人に佐々木祐勝さん（慶応出、禅昌寺住職）がいる。

ここでおもしろいのは、優勝戦の閉会式で、恒例の場内一周を見せものではない、とことわったことで、スパルタ式の校風をもつ一中らしいやり方だったが、そのまま神戸に戻ると、こんどはその逆で長さ一粁余のボール紙のメガホンをかついで元町通りなどを行進、初めて見る優勝旗に市民総出の大歓迎を受けたものだった。

（四四・八・二四記）

ムッシュー・ド・コウベ⑧ P.A.カンパネラさん

竹田洋太郎

神戸に住んでいる多勢の外国人はそれぞれ神戸に住む動機が異なっている。だがふつうは戦前に神戸で事業や亡命できた人、その二世、三世。戦後ビジネスでやってきた人。そのうちまた転動でどこかへ移っていく人。つまり戦前派、戦後派と大きくわけられる。

ところがなかに異色の人物が一人ある。戦前、戦後でなく、むしろ「占領派」とでもいえる人だ。言葉の感じはよくないかも知れないが、敢えていえば、である。

その人はフィリップ・アンソニー・カンパネラさん。この写真を見ていただくと、たしかにどこかで会った人と思う神戸っ子も多いはずである。

カンパネラさんが神戸にやってきたのは一九四五年九月。ということは終戦から間もなく、米軍人として第一陣に神戸に進駐したわけだ。それがカンパネラさんの神戸とのつながりだから、人間はどこで自分の故郷を見出すものかわからない。そして関西における米軍人の「現地除隊第一号」としてここに住みついてしまった。

カンパネラさんについては私もその人柄を昔聞いたことがある。進駐後、軍人のためのレストランを大丸の東側のニッケビルで運営していたが、私の友人が当時学生アルバイトのミュージシャンとしてそこで演奏していたからだ。イタリア人の血を持つ彼は、敗戦国の青年だといって学生たちを見下すようなことなく、実に明朗闊達につき合っていたという。

除隊後もレストランの経営、貿易とさまざまな事業をはじめ、いまは神戸のシニセ、オリバー・エバンズ・カンパネラ商会の社長として、貿易とシップ・チャンドラーをやっている。「シップ・チャンドラー」てどんな仕事?とたずねるような人は神戸っ子じゃない。だれか近くの人に聞いてごらん。

ともかく彼はエネルギッシュな人である。本業だけでなく、さまざまの公職にあるが、それをまたテキパキとさばいている。ちょっと日本人には考えられないくらいだが、これは「神戸の土地と人を愛すため」といってもいいだろう。地元に関係する地位についたはじめは、一九四八年、垂水で佐々木神父が米国のフラナガン神父の「少年の町」にならって、日本版少年の町をつくった時その理事になっている。こうした宗教的な社会福祉施設と米軍人との関係はあちこちにあるが、二十年以上にわたって絶えず施設を見守ってきたのは他に例がないんじゃないだろうか。

そのほか、一八九九年というから明治三十二年、阪神在留外人によって組織された「神戸大阪国際委員会」の会長を五年つとめたし、ご存知KRACの会長もやり、野球では今も相当のプレーヤーという。そういえばロイ・カンパネラという名選手が米国にいた。来日した時、彼は大阪で会ったそうだが、親戚かどうかは、筆者がき忘れた。現在、神戸日米協会の副会長、阪神の外人を中心とする特殊な阪神ライオンズクラブの会長もつとめたことがあるし、全日本の軍に属さない外人ボーイスカウトのコミッショナーもしている。前々月紹介した田中健一郎さんとはボーイスカウトでは馴染の間柄だ。

「私はニセイとでもいうか、両親はイタリアから米国へ移民して来て、私は米国で生まれた。ところが、妻は神戸生まれ、私の子供もみな神戸生まれ」と、ヨーロッパ、アメリカ、日本にわたる家庭を誇らしげに語る。だが、こんなに多くの公職にあるカンパネラさんには、そ

の責任感から、いま一つの大きな問題をかかえている。

それはタクシーの乗車拒否、ことに外人への拒否だ。先日、新聞でもこのことが「万国博を控えて大問題」とされていた。どこの国でも、タクシーが外国人を差別することはまずない。もちろんわれわれ日本人だって、時間によっては、まったくタクシーに乗れないことがあるだが、観光客などは、そんな事情は知らないし、観光客でなく、在留外人だと、日本人がタクシーに乗れる目の前で、拒否されたら、どんな感じを抱くだろうか。

運転手諸君がなぜ外国人に拒絶反応を示すのか。言葉がわからないこともある。神戸は特別な事情があって、三ノ宮駅あたりからタクシーを拾う外国人はよく北野の三本松あたりへ帰るが、ここは運転もむずかしく、坂をのぼり切れない車もある。

それより、筆者としては、日本人という単一民族独特の外国人に対する拒絶反応が底にあるためと思っているが、そんな理屈をいってもはじまらない。

カンパネラさんは、タクシーに乗るたびに運転手諸君に日本語で親しく話しかけて、外国人だからといって乗車拒否しないよう説得し、降りる時はていねいに礼をいうのを、最近努めているという。

「カンパネラは小さい鐘という意味。いい名前でしょう」という。この鐘、小さいどころか、高らかに鳴り響いている。

フィリップ・アンソニー・カンパネラさん

★ヘンなページ

コンピューターさまさま

向井修二〈イメージプロデューサー〉

サラリーマンの世界にとっては、ゴマスリがつきもの。しかし実力主義となりつつある今日では、年功序列などと同じく消えてしまうものである。

そして、追い打ちをかけるように、突如、現われてきたコンピューターという機械のオバケ。このコンピューターはなかなか立派なもので、今までペンやそろばんでやってきたサラリーマンの仕事をその根本から変えてしまいそうな様子である。

一流バーでホステスの肩に腕をかけ、大きな顔をして会社のカネで呑んでいる社用族どもは、自分の何倍もの収入があるホステスの肩にかけた腕をそっと引っこめつつサラリーマンの哀愁がヒシヒシと感じ迫る今日、コンピューター時代はサラリーマンをおびやかす。

しかし、この機械、使い方によっては大変便利なもの。今では占いに使い、マリッジカウンセリングにも使い、月ロケットにも使い、正にコンピューターさまさまである。

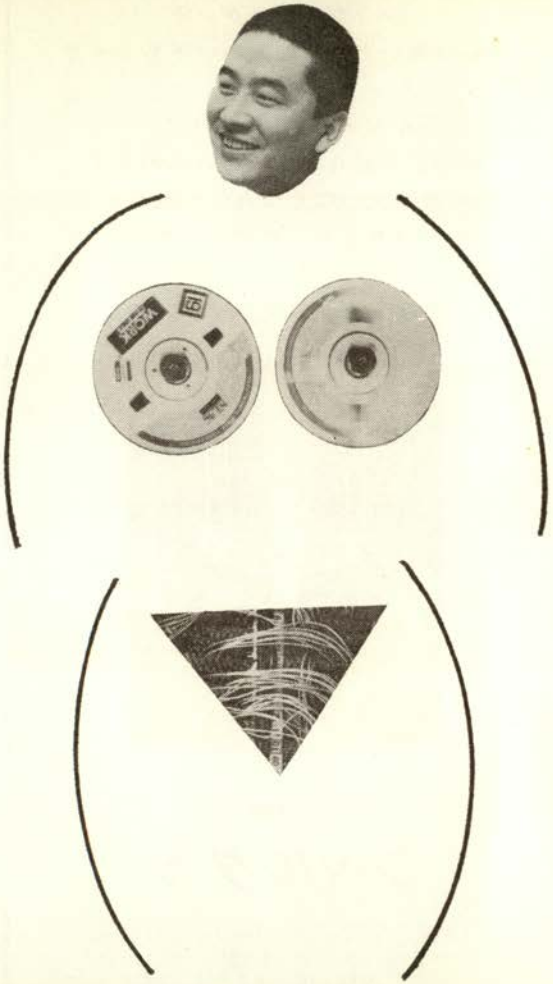
そして人間の積極性、つまり選択的行動の要素が強まってくる。

女を選ぶにしても、男を選ぶにしても、より適確な情報が入り、うそでぬりかためた世話好きなこうど屋はいなくなる。

セックスにおいては、どの地方の女性でもオンラインシステム（次々と端末装置から通信回線を通じて、中央のコンピューターに送り込み、コンピューターはそれを即座に処理して、その結果をただちにもとのところへ送り返す方法）によってお好みしだいに選びだせるし、データーに時間を書きこんでおけば、カード一枚でどの地方にいつも国鉄の〝グリーンの窓口〟よろしく〝ピンクの窓口〟なるものを使い、コンピューターによるセックス開放をやるのもできることの一つだろう。

男と女が好きの嫌いの、別れの切れのといそがしい。いや楽しいのかもしれないが、その前に一度、駅前コンピューターで国鉄の切符を買うのと同じく、カードに記入すればたちまちOK。

新潟美人、秋田美人もOK、コールガールのシステムにはもってこいのプランだが、フリーセックス（スエーデンよりも日本の方が上）時代にもなりつつある今日において



も大変男も女も楽しむことができるであろう。私が男だから言うのではないが、女の武器がセックスであるならば、男は前に理解しておき、セックスのくせや質の良さ、顔の良さ、ハダの色などを好みの女性が日本中、いや世界中から選び出し楽しむことができる。

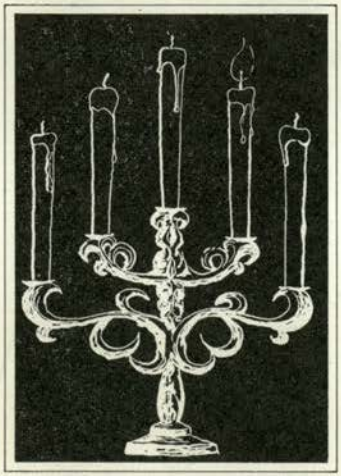
そんな時にこそ、初めてコンピューターセックスが可能になるのではないだろうか。ただそのデーター作りが大変ではあるが、セックスの解放はもう若いゼネレーションではあたりまえになりつつある。

小型のコンピューターは家庭に入りこみ、すべての管理もやってのけ、感覚の世界だけはなかなか進まないにしても、男は女に全く管理されてしまい、会社に行けば行ったで会社側から管理され、一番つまらぬのが今のサラリーマンであるだろう。

若い連中は、コンピューターよりも早く適確に友人をつくるものが多いが、感覚的には優れていても、経験的データーにおいては、コンピューターには勝てない。

ただコンピューターとコンピューターは恋愛もしないし、友情も生まれないのだから、その差はちぢまらない。

クラブジャルダンが
新しい装いと新しいかわい子ちゃんで
9月8日
からオープンしました
秋の酒が語らいが楽しい季節です
秋の夜を大いにくつろいで楽しんで
いただけるようにお待ちしています



CLUB
ジャルダン

神戸市生田区中山手通1丁目111
岩戸秀能
TEL.33－8589

お気軽にお越しくださいませ

スタンド　勢津

神戸生田東門筋　ゼウス街　☎078(39)0516

■熱演の「花柳芳恵一子リサイタル」

女流舞踊家花柳芳恵一子さんのリサイタルが八月二十日国際会館大ホールで開かれ満員の盛況。実川延若、中村扇雀久々の神戸出演とあって神戸のひいき筋の「河内家」「成駒家」と声援しきり。扇雀、芳恵一子の「絵島生島」は、扇雀の物狂いが良く、最後に生島が身投げする演出は島の女にあわれを感じ絵島生島の悲劇がかえって弱まる。「男女道成寺」格調高い延若の踊りに、芳恵似子も良く頑張った。新作「華炎」は、新曲自体がビゼーの作曲に近すぎる。邦楽独自の味がほしい。芳次郎、芳恵一子の熱演。芳五三郎が押えた演技で渋い。意欲作。第三回のリサイタルを期待する。

「男女道成寺」左芳恵一子と延若

「白鳥の湖」中央覚心と前島

■よくまとまった合同バレー「白鳥の湖」

「ここまでよくまとまった」というのが地元の声であり「もっと実力発揮できるのに」というのが指導者側の声であるようだが、八月二十一・二日と国際会館大ホールで開かれた兵庫県洋舞家協会第二回公演は成功裡に幕を閉じた。何といっても全幕上演に、合同バレーの意義をみとめたい。

前島のオデットは清楚で可能性充分。石井は安定している。黒鳥・上条は表情、形もよい。王子・覚心は熱演。王妃・貴品なくしまりがない。できれば先生方の出演でワキの大切なところを固めてほしい。若い人が多いだけに古典のマスターが何よりの進歩になる。今後も大曲にあたり、レベルアップを計ってほしいものである。

呉服染織
みよしや

神戸店 大丸前
電話神戸㉜二四四八番(代)
㉝三三八八番(代)
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪(361)九五八四番
姫路店やまとやしき百貨店四階
電話 姫路㉓一二二一番

あなたの美しいヘヤースタイルと
花嫁をつくる 美容室 **エリザベス**

美容室 **エリザベス**

畑尾 芙久子

本店美容室	生田神社前新河南ビル2階	<33>8894
婚礼衣裳部	生田神社前(元本店美容室)	<33>3258
三宮店	三宮神社山側三上ビル2階	<33>4917
芦屋支店	芦屋市阪神芦屋駅前	<2>4067
西宮店	西宮市阪急西宮マンション北館1階	<67>1294

美容担当(東京初代遠藤波津子直流)専属結婚式場
生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉学園・蘇州園他

神戸百店会だより

★十二月一日オープンの阪急梅田街出店情報

十二月一日にオープンする阪急梅田のショッピングタウンに出店する神戸百店会のメンバーは次の通り。

地下一階に大丸前の婦人服飾「セリザワ」トアロードのランジェリー店「スギヤ」うなぎの「神戸竹葉亭」

地下二階には元町の「凮月堂」「本高砂屋」チョコレートの「コスモポリタン製菓」「モロゾフ」ドイツ菓子の「ユーハイム」瓦せんべいの「亀乃井亀井堂本店」などが出店する。

この他第二期工事で入店するところもある模様。万博をひかえて阪急梅田街は、新しい大阪のショッピングとレジャーの地図を変えてゆくようだ。

★神戸百店会メンバー アメリカへ親善視察旅行

神戸百店会メンバーのさんちか店が、9月13日～26日まで「さんちかアメリカ親善視察旅行」に参加する。

参加するのは凮月堂、大上鞄店、美田時計店、ゴンチャロフ、カメヤ、東栄弥長崎堂本店、ドンク、セリザワ、上島コーヒー。

「さんちかも今年で4周年を迎え、神戸名物のひとつに数えられています。今年の暮れには大阪・阪急地下街ができ、さんちかもここで新しい魅力づくりを！と考え、流通革命のトップをゆくアメリカへ実際の姿を見にゆくことになったわけです。神戸ーシアトル姉妹都市にあやかるのではないがさんちかもシアトル・サウスセンターと姉妹商店街提携を結べたらと考えています」と三宮地下名店会の森本部長さんは語る。

一行はホノルル↓シアトル↓サンフランシスコ↓ロスアンゼルス↓ラスベガス↓グランドキャニオン↓シカゴ↓ニューヨーク↓ワシントンを経て26日、東京へ帰る予定。

★ちんがら屋 〝茶の湯〟テーマに第三十二回「秋の珍趣会」開く

去る八月二十五、二十六日の両日にわたり、神戸オリエンタルホテル二階ホールにて、ちんがら屋恒例の「秋の珍趣会」が開かれた今回は〝茶の湯〟をテーマに、清雅な風韻を伝える古典調ゆたかな作品が数多く展示され、会場を訪れた人々のほーっという溜息で雰囲気も最高調。着物のもつ美しさに思わず足を止める人もしばしば、遠くは京都の職先から見学にやってくる人もいた。

昨今のお稽古ごと流行で着物の需要が増えつつあり、近頃では男物の注文も少なくないとか。傾向としては、色、柄ともにモダンなものが喜ばれているようす。会場には茶席が催けられ、優雅な琴の音にのせ、あでやかな着物姿の娘さんがたててくれた茶をすすりながら、着物談義に花を咲かす人々で会は盛況のうちに幕を閉じた。

盛況のちんがら屋「秋の珍趣会」

★ショップトピックス

★〝**コトブき三宮店**〟が、和室肉料理を6階にオープン。ゆっくりとくつろげる純日本風の大小和室で、よりすぐりの神戸肉をたっぷりとご賞味ください。

★新聞会館秀品店の〝**田崎真珠店**〟は、十月十日ホテル・プラザに大阪店をオープン。神戸店同様よろしくお引き立て下さい。

★国際会館の〝**ベニー毛皮店**〟が新しい形式の毛皮ファッションショーを十月中旬、パリより輸入の品の揃うのを待って国際ホテルで開きます。入場ご希望の方は招待券を国際会館1F〝**ベニー毛皮店**〟で差上げます。

★〝**御木本真珠店**〟では、10月17日18日の二日間大阪ロイヤルホテル菊の間で、恒例の秋の特別展示会を開きます。ダイヤモンドをはじめ豪華な宝石の数々が、皆様のお目をとめることと思います。おさそい合わせてお越し下さい。

★船来雑貨の〝**サノヘ**〟が十月二十、二十一日の二日間、オリエンタルホテルのバラの間でショー（一時と三時）を開きます。ヨーロッパの逸品を集めました。おさそいあわせの上、ご来場下さい。

★元町三丁目〝**神戸眼鏡院**〟が十月十日いよいよ新装開店。ダークグリーンとアイボリーの渋い色調の店内には、最新設備の検眼室を設け皆様のご来店をお待ちしています。

★大丸前**ヨシオカ靴店**の吉岡時蔵さん（80）が、八月二十八日に死去されました。神戸靴の草分的存在としてお元気だった吉岡さんの突然の訃報でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

ポケットジャーナル

★西神戸有料道路
ノロノロ騒動始末記

神戸の市街地と西神地区を結ぶ「西神戸有料道路」（市道夢野―白川線）が8月24日から営業を開始。西神地区と神戸市街地を結ぶ産業動脈として神戸市が多額の金を費して建設した。

途中、用地買収の難航や地すべり、さらには予期せぬ長梅雨のため完成が遅れ梅雨明けと同時に突貫工事でやっと完成にまでこぎつけたが、オープンしてみれば交通規制40キロと市街地なみという粗末。しかも交通難緩和を考慮してつくられたにもかかわらず、板宿商店街は以前と変わらぬ車のノロノロ運転の列がズラリという有様。

9月2日からやっと最高速度50キロ、全面駐車禁止に改められたものの、このノロノロなんとかならないものか。

★三宮そごうに
トップ・レディ集まる

10月3日三宮のそごうがジャンボー〈そごう〉と、11階の増築が完成する。中心玄関に、ベネッチアングラスのわが国最大のシャンデリヤが、ミラプール・噴水オブジェとともに豪華な光の饗宴をくりひろげる。特に9階の催し場は六六〇mの会場で文化的な催しが開かれる。

オープン時は「現代美術最高峰・日本芸術院会員展」を10月3日～15日まで開く。主催は日本芸術院と日経新聞。美術の秋にふさわしい展覧会だ。また、画廊も六階に新しく誕生する。

10、11階のスカイラウンジに東西銘食店のうなぎ「きょう豊」「黒門栄すし」肉なべ料理を「大井肉店」天ぷらの「与太呂」「赤坂飯店」「丸の内ホテル」のグリルパーラー、ビフテキの「スエヒロ」などが店開き

また、一階の吹きぬけホール、インフォメーションデスクに、美人で二カ国語が話せる神戸のトップレディの案内ガールが誕生。月収十五万だというから美女は得だ。

★小曽根実トリオ
日本コロムビアより
レコード発売

テレビ「11PM」でお馴染みの小曽根実トリオのレコードが、このほど日本コロムビアより発売された。神戸流の洗練されたスマートなプレイぶりで、そのアルバムもA面は舶来の曲（悲しき天使、白い恋人たち、マンチェスターとリヴァプールほか）、B面は和製の曲（グッドナイトベイビー、ブルーライトヨコハマ、涙の季節ほか）と、ムーディな小曽根調が楽しいLPだ。

「11PM小曽根実トリオ」
レコード番号
YS・10062・J
￥1900
（日本コロムビア）

ミー坊のレコードジャケット

★セスナに乗って
神戸の空を飛ぼう

世は自動車時代とはいうが、ハンドルを握っても、道路は車で飽和状態、レジャー地は人でいっぱいとあっては、肝心のスピードを楽しむことができない。

そこで人間は空を飛ぶ。ポート寄席など神戸に漸進な企画を持ち込んだ真島謙治氏が、このたび阪神飛行クラブ（大阪・二七一―三九二五）を結成、セスナのライセンスを取って神戸の空を飛ぶ人を求めている。

四十時間以上の滞空時間

誕生日ありがとう運動

□「誕生日ありがとう運動」とは百名中三―四名は必らず生まれているという精神薄弱児（ちえおくれの子たち）に〝正しい理解と愛情を〟をモットーにはじまった運動で、誕生日に百円献金していただくものです。

□**啓蒙図書でき上る！**
長い間悪戦苦闘の末、ようやく九月二十日に出来上ることになりました。福田印刷工業K・Kのあたたかい援助により、最初の予定では七十ページが百ページとふえ、内容も充実。A5版と教科書程度の大きさで手頃です。出版資金の方も福田印刷をはじめ、神戸新聞事業団、日本生命済生会、神戸市児童福祉援護会、神戸みどり会、その他多数の方々からもうけています。素晴しいものができるとボランティア一同楽しみにしています。またできるだけ多くの人々の手に渡るようにと配布の件についても検討中。

○

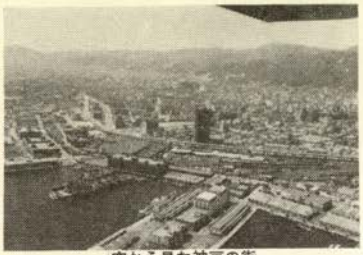
□「誕生日ありがとう運動」への献金の方法は、一〇〇円を住所氏名生年月日を書き添えて事務局へ郵送してください。また古切手集めにもご協力ください。
事務局＝神戸市葺合区小野柄通二の五青陽養護学校内
誕生日ありがとう運動事務局
電話㉒一五五九

があれば、自家用ライセンスの国家試験を受ける資格がとれることになっている。

入会金三万円、月会費千円だが、八尾空港からセスナを操縦する費用が三人まで三十分六千円とのこと。

三十分あれば須磨・明石まで十分に見られるというから、神戸の秋を満喫することまちがいなしだ。

また神戸セスナ・フライグ・サービス(大阪・三一二一七九四九)では、九月より毎日曜日、正午から日没まで八尾～西宮～六甲～神戸～須磨の遊覧飛行を行なっている。料金は大人三六〇〇円、小人二、八〇〇円である。四十分の所要時間で、神戸の空からの眺望を十分楽しめることであろう



空から見た神戸の街

★詩と絵画と映画に彫刻
ハプニンググループ誕生

八月二四日夜、加納町にあるジャズ&スナック〝人形の家〟は奇妙な雰囲気に満ちていた。スポットが一遇を照らすと突然に詩の朗読が始まる。真白な卵の上に一本一本ロウソクがつけられ、それがお客さんの足もとに並べられる。マッチをつけては消す単調な作業のくり返しが続き、突然それを破る絶叫。どこまでもどこまでも走る人間を断片的に画面に映す映画。これらが、ハプナーと客との交流で二時間近く続けられる

これが神戸に誕生したハプニンググループのドラマだ。湊川高校の国語の教師をする古林健司さん(27)を中心に、楠野隆夫(絵画)金子正二(映画)菊井喜一(照明)植松奎二(彫刻)岡田淳(漫画)大宮知信(ギター)占師・レイ子、淮田みゆき(絵画)久木千雅子と二十代のいずれも個性の強い集まりだ。

詩を担当する古林さんのメッセージによると、「海と山との接点である三宮界隈を厳しく捉え直し、それを行政の都市計画でなく、生きているわれわれの都市計画として自己表現できるよう若い世代に問いかけるためのハプニング」なのだ

当日会場に使っていた人形の家のママが「さっぱり分らないから、他の場所でやって」とのハプニングな申し出があり、現在、別の会場で、時には野外で隔週ごとのスケジュールを練っている。

★長唄の名手松崎倭佳
神戸初出演

邦楽界において女流長唄の名手松崎倭佳師(東京)は、玄人筋に絶大な人気で紫綬褒章をうけた歌い手。

松崎倭佳さん

このほど弟子の岡安喜歌子さん(神戸市生田区中山手通七丁目一ノ三TEL㉒七〇三七)が、十月二十六日兵庫県教育会館五階ホールで開く長唄喜蔦会に、松崎錦、岡安栄美代さんなどとともに来神。岡安の家元喜三郎と喜久次郎、晃三郎さんらも共演。松崎師は「船弁慶」「釵猿」「角兵衛」「吉原雀」「網館」などに出演する。松崎師の格調高く歌の上手さは当代随一。邦楽ファンにはのがせぬ好機である

★食堂界に波紋をおこす
バーグチェーン

食堂が、レストランが、単なる家庭の臨時の台所である時代はすぎて、今や地域社会の応接間となった。

アメリカでは食堂業界は第三位の業績をもっているが、日本では立遅れている。

商工貿易センターの24階にレストランをつくる株式会社バーグ(中内力社長)は、セントラルキッチン、

★ドライバーメモ
アームストロング船長の左足

川口陽之(自動車評論家)

アポロ11号のアームストロング船長は、なぜ左足から月面に降り立ったのか?

世界中の人間は、ほとんどが〝右きき〟で〝左きき〟(ぎっちょ)は五パーセントぐらいしかいない。なぜ人間は〝右きき〟なのかは定説がない。環境とか、遺伝とかいわれているし、あるいは左の脳の方が活発に働くので、右足、右手が器用で、力も強いのだともいわれている。

ともかく右足の方がしっかりしているので、右足を着陸船に確保しておいて、左足で未知の月面をさぐる方が安全であったわけである。

アイガー北壁を直登した今井道子さんも、右足を確保し、左足から登っていったはずである(ロッククライミングの常識)。

自動車も、力を必要とするブレーキペダルや、いつも足首を使っていなければいけないアクセルペダルは、世界中どこの車も、すべて右足で操作するようになっている。

子供をつれたお母さんが買物をした場合、品物を持つのは、どうしても力の強い右手ということになる。すると子供を左手につないでしまう。ところが歩行者は右側通行だから、車とすれ違う側に子供が出ることになる。これが車を運転している者にとっては大変にこわいのである。

「ギッチョ」でないお母さん、重たい荷物を左手で持つのはシンドイでしょうけれど、子供は必ず右手でつないで、車にこすられないようにして歩いてください。

セントラルウエアハウスなどを設けて材料の大量仕入れによる原価変動をさけ、味のよいものを、サービスと量でお客さんに答えようと適正値段で売る、というレストランチェーンのシステム化を急いでいる。

ウエイター、ウエイトレスの研修も最終的にバーグですするという総合システムは、その統一されたハイクラスのインテリアと、手頃な値段ゆえ、神戸および日本の食堂界に、その名の通り大きな波紋を起こしていくことだろう。

★美術の秋のご案内〈10月〉

そごう六階美術画廊

- 日本画、洋画大家新作展　3～9日
- 現代名匠による茶陶名碗展　10～15日
- パリ画壇の異才　関口俊吾展　17～22日
- 異色4人展　網谷義郎、鴨居玲、西村功、松本宏　24～29日

白鶴美術館

- 館蔵品展・日本の古美術　12日まで
- 中国古代の青銅器展　15日～11月30日まで（月曜休館）

★六甲ハイキング地図希望者に無料配布

六甲山は神戸、阪神間の人たちの遊び場として親しまれているが、意外と知られていないハイキングコースもある。そこで神戸市は市民の健康増進とレジャーに六甲山をじゅうぶん活用してもらおうーと六甲山のハイキング地図をつくり、九月末頃から希望者に無料で配布することになった。

この地図には東は宝塚市から西は神戸市須磨区の鉢伏山までの六甲山系のほとんどがはいっており、横一メートル、縦六十センチの大きさ。裏六甲地獄谷ーノースロードー記念碑までの六キロ、青谷ー摩耶山ー杣谷の十キロなどよく知られているハイキングコースはもちろん、一般、親子づれで歩けるコースなど三十のコースを紹介。裏面にはデーターも書きこまれ、一枚ものの折りたたみ式。とりあえず三万部発行する。

希望者は神戸市役所相談課、または体育保健課まで連絡して下さい。

花時計

原口忠次郎は永遠である!!

このたび、〝キング・メイヤー〟の愛称で親しまれていた原口忠次郎市長が神戸市長の座から離れることになった。この〝キング・メイヤー〟という愛称は外国の市民たちが原口市長につけた言葉なのだ。

「神戸っ子」の新年号で神戸のジェイムス山に住んでいた巨人故井植歳男氏がいった言葉をいまさらのように思いだす。『原口市長をいただいている神戸市民ほど幸せな市民はほかにないだろう。年が経つにつれてこの原口市長の偉大さが解ってくるだろう――また、最近は大臣が次々に誕生するが、新任の運輸大臣とか建設大臣になった人は原口偉大なるドクター原口に変わりはない。

必ず教えてもらってから大臣の椅子に座るべきである』この日本を代表する産業界の巨人もいまは亡い。これらのことばが原口忠次郎神戸市長のことを端的に物語っている。もちろん、神戸市民も原口市長の偉大さは十二分に知っている。

神戸市民が知っているのは〝ドクター原口〟なのである。市長の座から離れられても世界の大原口は永遠なのである。

〈小泉康夫〉

★コウベ ムービーコーナー

「さよならコロンバス」

フィリップ・ロスの小説「さよならコロンバス」の映画化。

撮影はすべて、小説の舞台でもあるニューヨーク近郊。ある夏のできごとである。図書館の館員として働き、30をすぎたばかりなのに、ニヒルな人生観をもつニール（リチャード・ベンジャミン）、富裕な両親に甘やかされて育った女子大生のブレンダ（アリー・マックグロウ）、わがままなブレンダの振舞に業を煮やすことがあっても、ニールにはそれがまた魅力とさえも感じられる。一方、ブレンダの両親パティムキン夫妻はこつこつと働いて一代で資産を成したが、財産と社会的地位をまもることが第一と考えている。マンモス都市の周辺で今日も起こっている小市民の生活を巧みに描写している。ブレンダの妹を演じるロリー・シェルはキャスト中の最年少で当年10歳のニューヨークッ子、ニューヨークの中心で撮影された映画だけに街の中心部や郊外の風物をふんだんに見せてくれる。監督はラリー・ピアース。音楽は「バーバレラ」のチャールズ・フォックス。

十月上旬、新聞会館大劇場にてロードショー公開。

●毎月応募ハガキの中から抽選で十名様を試写会にご招待します。

抽象画（アンフォルメ）のある料理の店

松茸の香りと共に秋が深まりました

▲風雅な香り高い鍋物がさかん
▲油ののってきた鯛の塩釜焼
▲スタミナのある神戸肉のバター焼
▲すだちのきいた会席料理

ご商談　ご宴会　同窓会
マージャン　囲碁会
お泊りもできます

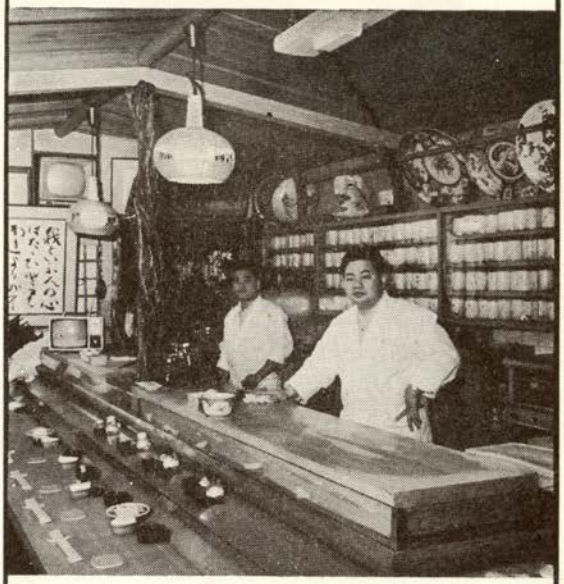
閑静美庭　岩風呂

お料理一ばん

青坂

神戸・中山手四　Tel ㉒ 7836・7846

リンゴ酢と蜂蜜で
腕をふるった
新しい〝味〟



神戸三宮生田ノ社ノ西

鮨の又平

電話・三の宮 ㉝ 0935